

遮音壁用先端改良型減音装置 イー エフ エックス

デュラカーム E-fX®

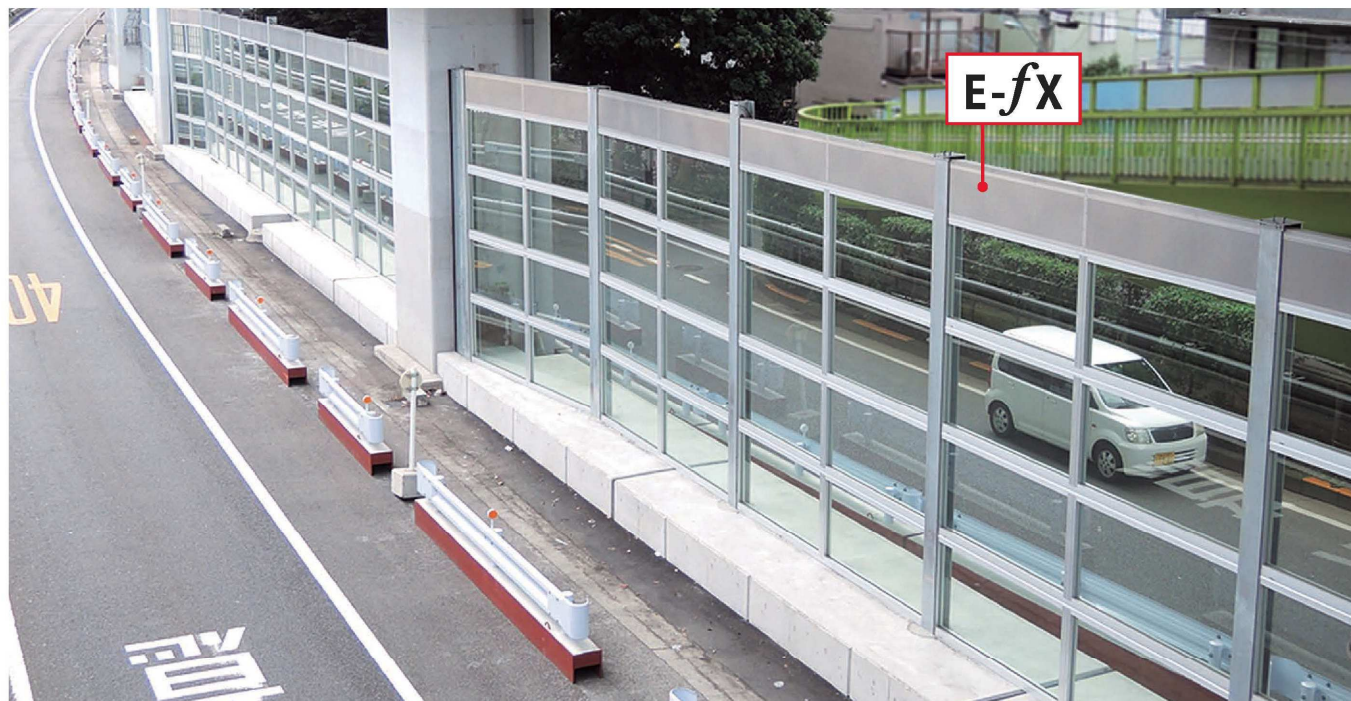
NETIS番号:KT-150014-A
※掲載は終了しております。

関西大学河井康人教授(開発当時)との共同開発により、「エッジ効果*抑制型」という新しい考え方の先端改良型減音装置が誕生しました。

優れた減音効果を持ちつつ、従来にない小型・薄型を実現した減音装置です。

嵩上げ設置と比べ、トータルコストで有利になります。

※エッジ効果 遮音壁の頂部の近傍で空気の粒子速度が非常に大きくなる現象。



特長 >>

優れた減音効果

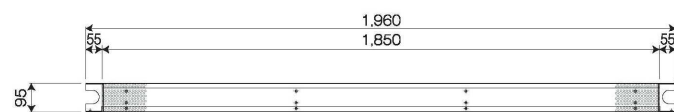
小型・薄型化を実現

コストメリットにも貢献

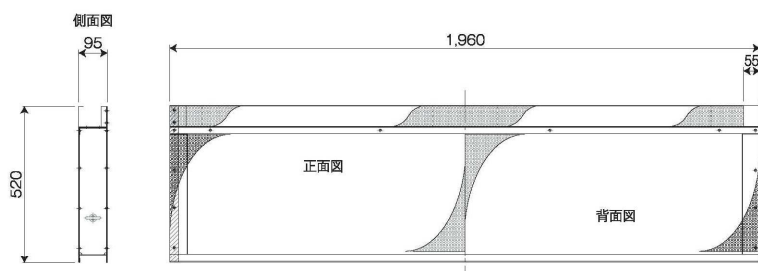
一般遮音壁と同じ厚みで建築限界などの問題なし

構造

正面(道路側)



背面(民地側)

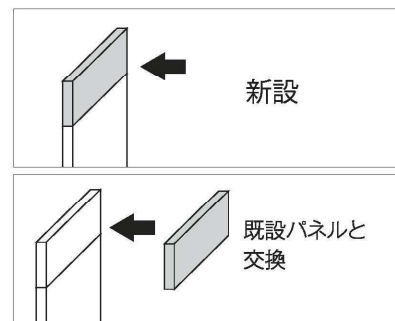
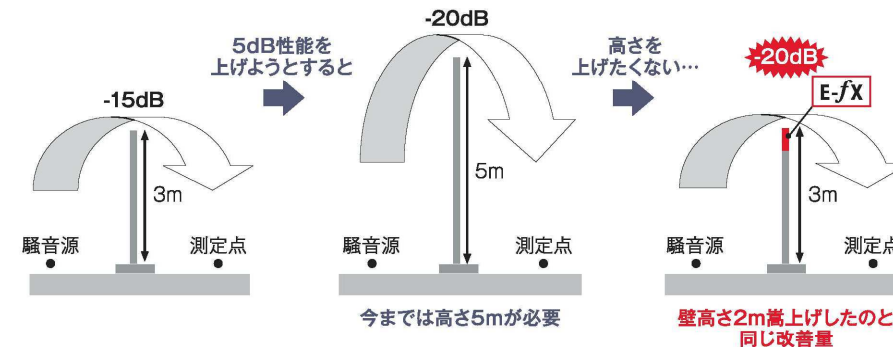


タイプ	流れ抵抗調整材	枠材	表面保護材	標準パネル寸法	厚み	重量	取付方法
デュラカーム E-fX®	ポリエステルマット	高耐食性めっき鋼板1.6t	アルミバンチング 1.0t	H=520mm L=1,960mm、3,960mm	95mm	約27kg/㎡	固定金具(パネ鋼) (別途) 正面ボルト止め可

※上記以外の寸法仕様はご相談ください。

これまでの一般防音パネルと同じサイズにもかかわらず、高い減音効果をもっています

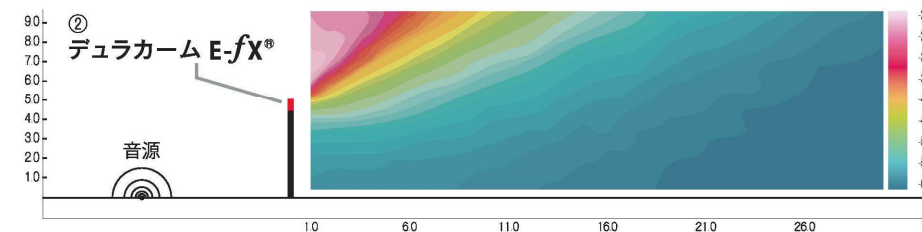
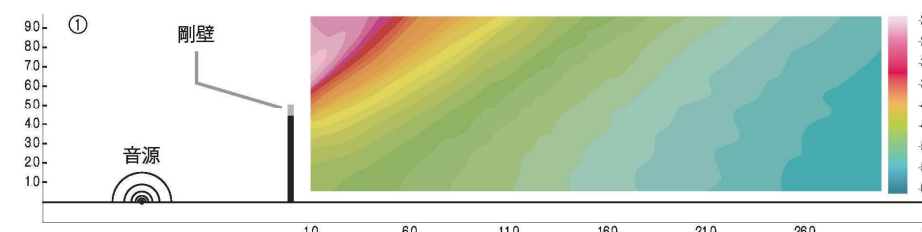
一般的な防音パネルと同じ厚み(95mm)なので、「車道に突き出て交通障害になる」「敷地内や建築限界内に納まらず設置できない」といった問題に悩まされることがなくなります。



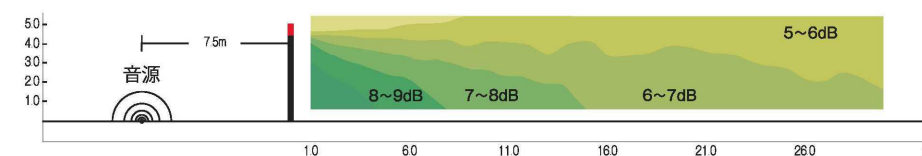
	厚さ(mm)	高さ(mm)
E-fX	95	500
従来型	500~2,000	500~1,200

減音効果のシミュレーション

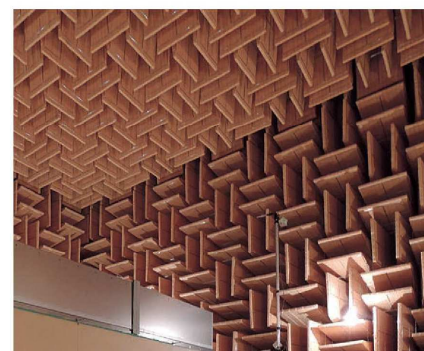
エッジ効果抑制型の効果量(自動車走行騒音A特性) 125~1,000Hzまでの計算から算出
数値は音源1m点で0dBAの時の相対レベル(dBA)



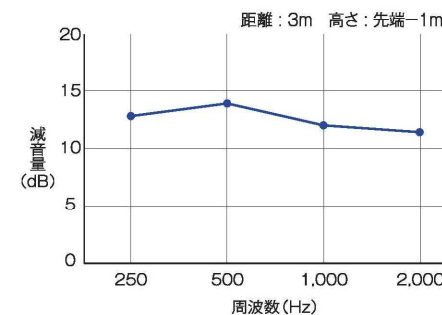
エッジ効果抑制型による減音効果(①-②)



無響室による性能・効果測定



減音量周波数特性



各騒音源での減音量

音源	壁からの距離	
	2m	3m
自動車	7.6	6.7
鉄道	8.3	7.6
冷却塔	6.7	6.0

高さ:先端-1m 単位:dB

製品に関するお問合せは



日本環境アメニティ株式会社

<https://www.nea-ltd.com/>

本社

東京都港区高輪3丁目5番23号 KDX高輪台ビル7階
〒108-0074 TEL. 03-5421-7520 FAX. 03-5421-7530

大阪支社

大阪市中央区久太郎町3丁目1番6号 伊藤佑ビル大阪本町2階
〒541-0056 TEL. 06-6252-7032 FAX. 06-6252-7033

